

議員提出議案

地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

地方自治体のデジタル化の着実な推進を図るため、左記の事項を強く要望する。

- ①書面や対面・押印が義務付けられているもの、特にマイナンバーカードの更新手続について、オンラインで実現できる仕組みを構築すること。②情報システムの標準化・共通化、クラウド活用を促進すること。③更新が予定されている自治体情報セキュリティクラウドについて導入時と同様の財政措置を講ずること。④地方の事務処理の実態を正確に把握するとともに、地方公共団体の負担とならないよう十分な人的支援及び財政措置を講ずること。

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会を開催

8月20日、28日、9月17日に開催され、左記の付議事件について審査や、行政報告が行われました。

- 付議事件①町田市基本構想に関する事項
付議事件②町田市基本計画に関する事項
付議事件③町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算

本定例会では意見書4件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書

大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう、より一層、十分な予算の安定的かつ継続的な確保が必須である。よって、国におかれては、左記の措置を講じられるよう強く要望する。

- ①令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと
②地方自治体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること
③災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会 中間報告

9月30日の本会議において、中間報告が行われました。この委員会は、22年4月から開始する新たな基本構想・基本計画によって、市民が夢を描くことができ、幸せを感じられる未来をつくることができると、町田市基本構想に関する事項、町田市基本計画に関する事項、町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算の調査・検討をす

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会 中間報告
9月30日の本会議において、中間報告が行われました。この委員会は、22年4月から開始する新たな基本構想・基本計画によって、市民が夢を描くことができ、幸せを感じられる未来をつくることができると、町田市基本構想に関する事項、町田市基本計画に関する事項、町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算の調査・検討をす

コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書

自然災害の激甚化を踏まえ、ICTを活用した新サービスは社会基盤構築のため重要である。「罹災証明書」の交付は、市町村窓口において手続きが必要となっているが、以下の通り措置を要望する。

- ①コンビニエンスストアのコンビニ交付サービスを活用して罹災証明書の交付を可能に。
②罹災証明書のマイナンバー等での申請は各地方公共団体の希望により実施可能な事を早急に周知・徹底を。
③マイナンバーを活用した被災者台帳を全国の自治体で作成可能に。
④被災者台帳システム未整備の自治体等が共同利用できるシステム基盤構築を。

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会

その後、3月27日、6月5日、8月28日に委員会を開催し、担当者より行政報告を受け、調査検討してきましたが、20年3月13日に、より機動性を持って議論を深めるため、委員定数を36人から10人に減らす事を決しました。

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会
その後、3月27日、6月5日、8月28日に委員会を開催し、担当者より行政報告を受け、調査検討してきましたが、20年3月13日に、より機動性を持って議論を深めるため、委員定数を36人から10人に減らす事を決しました。

新生児先天性代謝異常スクリーニングに重症複合免疫不全症の検査を追加することを求める意見書

今年10月からロタワクチンが定期接種化となった。ロタウイルスによる乳幼児の重篤な症状を予防する上で重要な施策である。一方、5万人に1人いると推定される「重症複合免疫不全症(SCID)」の子どもが、ワクチン接種で重篤な感染を引き起こすことが懸念される。そうした事態を防ぐため新生児へのスクリーニング検査で発見できる仕組みが必要となる。

そこで、東京都に対して、①新生児先天性代謝異常スクリーニングにおいて、重症複合免疫不全症の検査を追加することを求める。

東京都知事ほか1件宛て

議論を深め、9月17日の委員会において、議会側の意見を要望するため、委員会提出議案の提出に至りました。

議論を深め、9月17日の委員会において、議会側の意見を要望するため、委員会提出議案の提出に至りました。

2019年度政務活動費の収支報告(2019)

条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費が交付されています。毎年度、その収支について、領収書等の必要書類を添えて議長に提出することが義務付けられています。

2019年度の会派別収支は下記の表のとおりです。会派ごとの収支報告書及び領収書等については、市庁舎3階の議会図書室で閲覧することができ、市議会ホームページでもご覧いただけます。

委員会提出議案

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会
9月30日の本会議において、左記の決議が全会一致をもって可決されました。

- 1 地域の魅力向上・活性化の視点を取り入れられたい。
2 SDGsの視点を取り入れられたい。
3 若者が、住みたい・住み続けたいと思える視点を取り入れられたい。
4 緑豊かな自然環境で、高齢になっても住み続けられるまちをつくる視点を取り入れられたい。
5 いつでも・どこでも・誰でも学べる教育環境を充実させる視点を取り入れられたい。

2019年度政務活動費会派別収支報告一覧表(2019年4月～2020年3月)

Table with 8 columns: 会派名, 所属議員数, 交付月数, ※収入額(交付額), 人件費, 調査活動費, 研修・研究・会議費, 資料作成費, 資料購入費, 広報費, 通信運搬費, 事務費, 合計, 残余金(返還額)

第16期町田市議会特別委員会を開催

8月28日に開催され、左記の付議事件について審査が行われました。

- 付議事件
①議員の調査活動等に関する事項
②議会の権能強化及び環境整備に関する事項
③市民と議会の関わりに関する事項

- 1 地域魅力向上・活性化の視点を取り入れられたい。
2 SDGsの視点を取り入れられたい。
3 若者が、住みたい・住み続けたいと思える視点を取り入れられたい。
4 緑豊かな自然環境で、高齢になっても住み続けられるまちをつくる視点を取り入れられたい。
5 いつでも・どこでも・誰でも学べる教育環境を充実させる視点を取り入れられたい。

会派の動き

- 会派退会
藤田 学 自由民主党 (8月5日付)
会派結成
藤田 学 諸派 (8月5日付)

議会の人事

- 【議会運営委員会】委員の交代
就任 白川 哲也
辞任 藤田 学 (8月14日付)
【多摩ニュータウン環境組合議会議員】議員の交代
就任 佐藤 伸一郎
辞任 藤田 学 (8月27日付)

9月定例会の日程表 (月日, 内容, 傍聴者数:3名)

目の不自由な方のために、点字と声(カセットテープ版、デイジー版)の「町田市議会だより」を発行しています。ご希望の方は、議会事務局調査法制係(☎042-724-4049)までお申し込みください。